

桃字：H29取組状況  
 紫字：H30取組状況  
 緑字：R1取組状況  
 青地：R2取組状況  
 赤字：R3取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現								
1 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	益田川 高津川（県管理） 津和野川	平成30年度末まで						◆想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図作成・公表し、関係市町へ提供する。 ◆H29～津和野町、吉賀町 ◆H30～益田市
		H29取組状況						・津和野川、高津川、益田川の洪水浸水想定区域図作成
		H30取組状況						・津和野川、高津川、益田川の洪水浸水想定区域図を公表【H30.5.25】し、津和野町、吉賀町、益田市に提供
		R1(H31)取組状況						-
		R2取組状況						-
		R3取組予定						-
2 水害ハザードマップの改良・周知	対象流域	令和2年度(平成32年度)末まで	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 (平成30年度作成予定) ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 (ハザードマップ完成後すぐに登録) ◆印刷物を各戸配布する。 (平成30年度配布予定)	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 (平成30年度作成予定) ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 (ハザードマップ完成後すぐに登録) ◆印刷物を各戸配布する。 (平成31年度配布予定)	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 (令和2年度 平成30年度 作成予定) ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 (ハザードマップ完成後すぐに登録) ◆印刷物を各戸配布する。 (令和2年度(平成32年度)配布予定) (印刷物は土砂災害と一緒に作成)			
		H29取組状況	-	-	-			
		H30取組状況	・防災ハザードマップの作成	・防災ハザードマップの作成	・防災ハザードマップ（既存）の周知（転入者等へ戸別配布）			
		R1(H31)取組状況	・防災ハザードマップの周知（各戸配布、ポータルサイト登録、市HP掲載等）【R1.5】 ・自治会、自主防災組織、団体等へのハザードマップ説明会の実施【R1.7～R2.1】	・防災ハザードマップの周知（各戸配布、ポータルサイト登録、町HP掲載等）【R1.5】 ・出前講座に合わせた自治会等へのハザードマップ説明会の実施【R1.5、6】 ・民生児童委員協議会各支部へのハザードマップ説明会の実施【R1.7、R2.2】	・防災ハザードマップ（既存）の周知（転入者等へ戸別配布）			
		R2取組状況	・防災ハザードマップの周知（転入者等へ戸別配布）	・防災ハザードマップの周知（転入者等へ戸別配布）	・防災ハザードマップの更新（ポータルサイト登録、町HP掲載等）			
		R3取組予定	・防災ハザードマップの周知（転入者等へ戸別配布）	・防災ハザードマップの周知（転入者等へ戸別配布）	・防災ハザードマップの周知（町内全戸配布・転入者等へ窓口で配布）			
3 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	益田川 高津川（県管理） 津和野川	平成30年度の出水期までに水害対応タイムラインの作成	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	◆タイムラインの策定に関する支援	◆水害対応タイムラインの確認・調整。 (水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う)	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。
		H29取組状況	・対象河川の水害対応タイムラインの作成【H30.6.1】					
		H30取組状況	・実洪水【H30.7.6】・情報伝達訓練【H30.4.25】を通じ必要に応じて見直し					
		R1(H31)取組状況	・出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有 ・実洪水【R1.8.28.29】・情報伝達訓練【H31.4.25】を通じ必要に応じて見直し ・河川災害復旧工事完成に伴う津和野川町田水位観測所の設定水位見直し					
		R2取組状況	・出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有 ・実洪水・情報伝達訓練【R2.5.12】を通じ必要に応じて見直し ・河川災害復旧工事完成に伴う津和野川町田水位観測所の設定水位改定【R2.4.6】に伴うタイムライン改定【R2.6.12】					
		R3取組予定	・出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有 ・実洪水・情報伝達訓練【R3.4.22】を通じ必要に応じて見直し					

桃字：H29取組状況  
 紫字：H30取組状況  
 緑字：R1取組状況  
 青地：R2取組状況  
 赤字：R3取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
4 洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	益田川 高津川（県管理） 津和野川	平成28年度から継続実施	◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。	◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。	◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。			◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。
		H29取組状況	・情報伝達演習の実施【H29.4.28】	・情報伝達演習の実施【H29.4.28】	・情報伝達演習の実施【H29.4.28】			・情報伝達演習の実施【H29.4.28】
		H30取組状況	・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】 ・実洪水でホットラインを実施 高津川 塔尾橋水位観測所【H30.7.6】			・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】 ・実洪水でホットラインを実施 高津川 塔尾橋水位観測所【H30.7.6】
		R1(H31)取組状況	・情報伝達演習でホットラインを実施【H31.4.25】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H31.4.25】 ・実洪水でホットラインを実施 津和野川 町田水位観測所【R1.8.28,29】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H31.4.25】			・情報伝達演習でホットラインを実施【H31.4.25】 ・実洪水でホットラインを実施 津和野川 町田水位観測所【R1.8.28,29】
		R2取組状況	・情報伝達演習でホットラインを実施【R2.5.12】	・情報伝達演習でホットラインを実施【R2.5.12】	・情報伝達演習でホットラインを実施【R2.5.12】			・情報伝達演習でホットラインを実施【R2.5.12】
		R3取組予定	・情報伝達演習でホットラインを実施【R3.4.22】	・情報伝達演習でホットラインを実施【R3.4.22】	・情報伝達演習でホットラインを実施【R3.4.22】			・情報伝達演習でホットラインを実施【R3.4.22】
5 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	圏域	令和2年度（平成32年度）未まで					◆防災気象情報の改善 ○危険度を色分けした時系列 ○警報級の可能性の提供 ○危険度分布（メッシュ情報）の充実	◆次期水防情報システムの開発（平成31年度から運用開始予定） ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○観測データの異常値チェック機能 ○スマートフォンに対応した情報提供 ◆雨量計、水位計等の更新を行う。 （令和2年度（平成32年度）未更新完了予定）
		H29取組状況					・平成29年度出水期より改善された防災気象情報を提供開始（完）	・次期水防情報システム開発に着手
		H30取組状況					・平成30年6月20日より降水短時間予報をこれまでの6時間先から15時間先に延長 ・平成31年3月14日より台風強度予報をこれまでの3日間先から5日間先に延長	・次期水防情報システム開発【H31.3.8～運用開始】
		R1(H31)取組状況					・令和元年6月12日より、台風予報に係る予報円、暴風警戒区域の絞り込みとともに台風予報の信頼度をより的確に実現する形での発表を開始 ・令和元年度6月28日より大雨警報（土砂災害）の危険度分布の高解像度化の開始 ・令和元年12月24日より危険度分布とリスク情報（浸水想定区域、土砂災害警戒区域）を重ね合わせて表示できるよう改善 ・令和2年3月18日より、天気分布予報及び時系列予報の高解像度化・予報期間の延長等改善を行い、リニューアルした気象庁ホームページによる発表を開始	・次期水防情報システム運用開始及び周知への取り組み ・雨量計、水位計等の更新に着手
		R2取組状況					・洪水危険度分布において、本川の増水に起因する内水氾濫の危険度も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけた危険度を表示する改善を行い、令和2年5月28日から運用開始。 ・大雨特別警報から大雨警報へ切り替え後、河川水位上昇や氾濫への警戒を呼び掛ける府県気象情報（洪水予報（臨時））を、河川管理者と共同して令和2年7月4日から発表開始。 ・新たな発表指標（土砂災害における短時間指標）を用いた、大雨特別警報の全国的な運用を令和2年7月30日から開始。 ・大雨警報（浸水害）、洪水警報等の基準について、新たな災害事例を追加した評価・検証による見直しを行い、令和2年8月6日から運用開始。 ・大雨特別警報の発表基準を、警戒レベルとの関連が分かりやすいよう、雨を要因とする基準に一元化し、令和2年8月24日から運用開始。 ・5日先までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式の気象情報等により、令和2年8月26日から提供開始。 ・24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、タイムライン支援のため、これまでの「1日先まで」から「5日先まで」に延長し、令和2年9月9日から運用開始。 ・気象庁ホームページの台風情報を、14か国語で9月16日から提供開始。	・新水防情報システム運用、周知 ・雨量計、水位計等の更新完了
		R3取組予定					・大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。 （予定） 記録的短時間大雨情報及び高潮警報の改善	・新水防情報システム運用、周知

桃字：H29取組状況  
 紫字：H30取組状況  
 緑字：R1取組状況  
 青地：R2取組状況  
 赤字：R3取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
6 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	—	平成30年度から順次実施	◆簡易水位計設置箇所の周知および水位情報の把握や活用の検討					◆モデル河川に簡易水位計を整備し、効果を検証した上で順次拡大を図る。 ○モデル河川・・・今後調整
		H29取組状況	—					—
		H30取組状況	—					・危機管理型水位計の整備 益田市：後湯川 津和野町：津和野川 吉賀町：鹿足河内川
		R1(H31)取組状況	—					・危機管理型水位計の整備 津和野町：名賀川 吉賀町：高津川（七日市） ・河川監視カメラの整備 益田市：今市川（今市川橋門付近）
		R2取組状況	—					・危機管理型水位計の整備 益田市：沖田川 ・河川監視カメラの更新・整備 益田市：益田川（染羽）更新 津和野町：津和野川（町田）整備 津和野町：高津川（船橋）整備 吉賀町：高津川（塔尾橋）整備
R3取組予定	—					・河川監視カメラ等の運用・周知		
7 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	圏域	毎年継続実施	【住民自らが考え、行動できる情報の"意味"や"入手方法"などを周知する】 ◆小学校、養護学校等で防災教室を開催（9月末現在3校） ◆障がい者団体、自治会等で防災講演、訓練支援（9月末現在14か所） ◆毎月、広報紙で防災コラムを掲載（高齢者にもわかりやすい情報提供） ◆防災メール登録の推進	【住民自らが考え、行動できる情報の"意味"や"入手方法"などを周知する】 ◆公民館や自治会、自主防災組織等からの要請による防災に関する出前講座の開催や地区防災訓練の支援。 ◆広報紙やCATVを活用した定期的に防災知識の普及・啓発。（高齢者にもわかりやすい情報提供） ◆防災メール登録の推進	【住民自らが考え、行動できる情報の"意味"や"入手方法"などを周知する】 ◆出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ◆防災イベントの開催 ◆広報紙を活用した防災情報発信（高齢者にもわかりやすい情報提供） ◆防災メール登録の推進	◆防災知識の普及に協力。	◆出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。	◆市町の出前講座等を支援する。 ◆ホームページを活用して防災情報を発信する。
		H29取組状況（参考表示）	<H30年3月末時点> ・吉田小、益田養護学校で防災教室開催 ・益田、翔陽各高校で防災避難訓練支援 ・障がい者団体、自治会等で防災講演、訓練支援（14か所） ・益田あけぼのライオンズクラブ防災講演 ・毎月、広報紙で防災コラムを掲載	・出前講座の実施 ・広報紙掲載	・出前講座の実施 ・広報紙掲載	（参考：国管理区間） H29.6.11益田市明見団地にて避難訓練及び出前講座実施	・未実施（出前講座等の要請無し）	・新聞広報（考える県政）【H29.6.18】 ・水防技術講習会【H30.3.18】
		H30取組状況（参考表示：印刷時は非表示）	・小中学校、養護学校等で出前講座を開催（3校4回） ・自治会、自主防災会、高齢者福祉施設等で防災講演、訓練支援（11団体） ・毎月、広報紙で防災コラムを掲載	・出前講座の実施 ・小学校での防災学習の開催 ・住民周知用気象・防災情報記事作成（ハザードマップに掲載）	・出前講座の実施 ・広報紙掲載 ・小学校で防災研修を開催	・防災知識の普及に協力	・H30.6.5 津和野町防災会議において、島根県の豪雨災害と防災気象情報の利活用について講演を行った。 ・H31.2.13 益田市防災会議において、近年の気象災害と防災気象情報の利活用について講演を行った。	・防災研修会の実施【H30.5.25】 ・新聞広報（考える県政）【H30.6.23】
		R1(H31)取組状況	・ハザードマップの周知、フォローアップ ・小中学校、養護学校等で出前講座の開催（2校3回） ・自治会、自主防災会等で出前講座の開催、訓練支援（44団体）	・出前講座等の実施【R1.5～8、R1.11、R2.2】 ・広報紙掲載、チラシの配布【R1.6】 ・ハザードマップ配布に伴う気象・防災情報の周知【R1.5】	・自主防災組織での出前講座の実施 ・サロンで防災研修を開催 ・県及び町合同防災訓練の実施	・防災知識の普及に協力	・R1.6.10 津和野町防災会議において、島根県の豪雨災害と防災気象情報の利活用について講演を行った。 ・R1.6.14 高津川洪水予報連絡会幹事会において、防災気象情報の改善について説明を行った。 ・R1.10.20 島根県・吉賀町総合防災訓練においてブースを出展し、防災知識の説明・普及を行った。 ・R2.1.15 益田市環境講演会において、島根県の気候変動と豪雨災害について講演を行った。	・新聞広報（考える県政）による情報発信 ・出前講座等を実施
		R2取組状況	・ハザードマップの周知、フォローアップ ・小中学校、養護学校等で出前講座の開催（2校2回） ・自治会、自主防災会等で出前講座の開催、訓練支援（3団体）	・出前講座等の実施【R2.7.4、8.29、10.14】 ・広報紙掲載、チラシの配布【R2.6】 ・要配慮者利用施設避難訓練支援	・自治会、自主防災組織での出前講座の実施、訓練支援の実施 ・広報紙掲載、チラシの配布 ・町防災訓練の実施 ・小学校での防災学習 ・民生委員に防災研修実施	・防災知識の普及に協力 ・定住外国人を対象とした防災講座【R3.1.17】 ・吉田小学校での出前講座【R2.11.9-10】 ・マイ・タイムライン普及のための余地駄地区での出前講座【R2.11.21】	・高津川洪水予報連絡会幹事会において、「防災気象情報の改善について」と題し情報提供を行った。 ・R2.10.14 津和野町職員向けの出前講座をリモート（web会議）にて開催。防災気象情報の利活用について講演し、防災知識の普及を行った。	・新聞広報（考える県政）による情報発信 ・出前講座等を実施 ・防災士養成研修等の実施
		R3取組予定	・ハザードマップの周知、フォローアップ ・小中学校、養護学校等で出前講座の開催 ・自治会、自主防災会等で出前講座の開催、訓練支援	・自治会、自主防災組織等での出前講座等の実施 ・広報紙掲載、チラシの配布 ・ハザードマップ配布に伴う気象・防災情報の周知	・自治会・自主防災組織での出前講座の実施、訓練支援の実施 ・町防災訓練の実施 ・サロンで防災研修を開催 ・ハザードマップ、広報紙掲載、チラシの配布	・防災知識の普及に協力	・出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。	・新聞広報（考える県政）による情報発信 ・出前講座等を実施 ・防災士養成研修等の実施

桃字：H29取組状況  
 紫字：H30取組状況  
 緑字：R1取組状況  
 青地：R2取組状況  
 赤字：R3取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考	
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台		島根県（益田県土・津和野土木）
8 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検	益田川 高津川（県管理） 津和野川 他	平成30年度から	◆出水前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防署・警察等と共同点検する。	◆出水前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町（防災・建設部局）・消防署・警察等と共同点検する。	◆出水前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町（防災・建設部局）・消防署・警察等と共同点検する。			◆出水前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市町・消防団等と共同で点検する。	
		H29取組状況	—	出水前に重要水防区域、危険な箇所について確認【H29.6.28】	出水前に重要水防区域、危険な箇所について確認【H29.6.23】			・津和野土木 出水前に重要水防区域、危険な箇所について確認	
		H30取組状況	・出水期前の連絡調整会議に参加【H30.6.6】	・共同点検に参加 「水防資機材」の受渡方法について確認【H30.6.26】	・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検に参加 「水防資機材」の受渡方法について確認【H30.6.29】			・出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施 「水防資機材」の受渡方法について確認	
		R1(H31)取組状況	・出水期前の連絡調整会議に参加【R1.6.7】 ・共同点検に参加【R1.7.8】	・出水期前の連絡調整会議に参加【R1.6.4】 ・共同点検に参加 「水防資機材」の受渡方法について確認【R1.6.27,28】	・出水期前の連絡調整会議に参加【R1.6.4】 ・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検に参加 「水防資機材」の受渡方法について確認【R1.6.25】			・出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施 「水防資機材」の受渡方法について確認	
		R2取組状況	・出水期前の連絡調整会議に参加【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】 ・「洪水予報河川」及び「重要水防区域」に指定されている益田川の共同点検を実施【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】	・共同点検に参加【R2.6.25】	・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検に参加 「水防資機材」の受渡方法について確認【R2.6.5】			・出水期前に連絡調整会議を開催【中止】し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施 「水防資機材」の受渡方法について確認	
R3取組予定	・出水期前の連絡調整会議に参加【調整中】 ・「洪水予報河川」及び「重要水防区域」に指定されている益田川の共同点検を実施【調整中】	・出水期前の連絡調整会議に参加【調整中】 ・共同点検に参加 「水防資機材」の受渡方法について確認【調整中】	・出水期前の連絡調整会議に参加【調整中】 ・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検に参加 「水防資機材」の受渡方法について確認【調整中】			・出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施 「水防資機材」の受渡方法について確認			
9 水害危険性の周知促進	—	平成31年度から	◆県や市が保有する過去の浸水実績などを利用して、住民等に対して水害の危険性を周知する。	◆県や町が保有する過去の浸水実績などを利用して、住民等に対して水害の危険性を周知する。	◆県や町が保有する過去の浸水実績などを利用して、住民等に対して水害の危険性を周知する。			◆県が保有する過去の浸水実績等を関係市町へ提供する。	
		H29取組状況	—	—	—			—	
		H30取組状況	—	—	—			—	
		R1(H31)取組状況	—	—	—			—	
		R2取組状況	・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を図る	・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を図る	・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を図る			・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を図る	
R3取組予定	・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を図る	・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を図る	・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を図る			・中小河川の浸水リスクの検討			

桃字：H29取組状況  
 紫字：H30取組状況  
 緑字：R1取組状況  
 青地：R2取組状況  
 赤字：R3取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
<b>■要配慮者利用施設における確実な避難</b>								
10 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援	圏域	平成28年度から継続実施	◆施設管理者向け説明会の開催（平成30年1月～2月）および避難確保計画作成の支援  <H29年12月時点> 【対象施設 103施設】 (内訳) 避難計画策定済み 6施設 避難計画未策定 97施設  ※新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。  ◆施設管理者や職員に対して、防災メール登録の推進	◆洪水浸水想定区域内の要配慮者地要施設の管理者が策定する避難確保計画等の作成支援  <H29年12月時点> 【対象施設 2施設】 (内訳) 避難計画策定済み 〃 避難計画未策定 2施設  ※新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。  ◆施設管理者や職員に対して、防災メール登録の推進	◆避難確保計画作成の支援  <H29年12月時点> 【対象施設 なし】 (自主的に1施設策定済) ・養護老人ホーム ・風水害/土砂災の避難計画策定  ※新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。  ◆施設管理者や職員に対して、防災メール登録の推進	◆平成28年度施設管理者向け説明会の開催  ◆避難確保計画作成に関する支援	◆平成28年度施設管理者向け説明会の開催  ◆避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言	◆平成28年度に施設管理者向け説明会を開催した。  ◆モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有する。  ◆市町の支援
		H29取組状況	<H30年3月末時点> 【対象施設 103施設】 (内訳) 避難計画策定済み 13施設 避難計画未策定 90施設	<H30年3月末時点> 【対象施設 2施設】 (内訳) 避難計画策定済み 〃 避難計画未策定 2施設	<H30年3月末時点> 【対象施設 なし】 (自主的に1施設策定済) ・養護老人ホーム ・風水害/土砂災の避難計画策定	・要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】	・未実施	・要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】
		H30取組状況	<H31年3月末> 【対象施設 103施設】 (内訳) 避難計画策定済み 13施設 避難計画未策定 90施設 ※市策定支援（H30） 7施設	<H31年3月末予定> 【対象施設 14施設】 (内訳) 避難計画策定済み 0施設 避難計画未策定 14施設 ※H30.5洪水浸水想定の見直し（想定最大規模）に伴い対象施設数増	<H31年3月末予定> 【対象施設 なし】 (自主的に1施設策定済) ・養護老人ホーム ・風水害/土砂災の避難計画策定	・避難確保計画作成に関する支援を行う	・未実施	・計画作成支援を行う
		R1(H31)取組状況	<R2年3月末> 【対象施設 110施設】 (内訳) 避難計画策定済み 25施設 避難計画未策定 85施設 ※市策定支援（R1） 12施設	<R2年3月末予定> 【対象施設 14施設】 (内訳) 避難計画策定済み 1施設 避難計画未策定 13施設	<R2年3月末予定> 【対象施設 なし】 (自主的に1施設策定済) ・養護老人ホーム ・風水害/土砂災の避難計画策定	・避難確保計画作成に関する支援を行う	・未実施	・計画作成支援を行う
		R2取組状況	<R3年3月末> 【対象施設 111施設】 (内訳) 避難計画策定済み 34施設 避難計画未策定 77施設 ※市策定支援（R2） 5施設	<R3年3月末予定> 【対象施設 13施設】 (内訳) 避難計画策定済み 1施設 避難計画未策定 12施設 ※施設閉鎖に伴う対象施設数減	<R3年3月末予定> 【対象施設 なし】 (自主的に1施設策定済) ・養護老人ホーム ・風水害/土砂災の避難計画策定	・避難確保計画作成に関する支援を行う	・説明会及び避難確保計画作成に係る助言の依頼なし。	・計画作成支援を行う
		R3取組予定	・継続	・継続（地域防災計画の修正にあわせて見直しを検討。）	・継続	・避難確保計画作成に関する支援を行う	・説明会及び避難確保計画作成に協力し、助言を行う。	・計画作成支援を行う
<b>■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る</b>								
11 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域	平成28年度から継続実施	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。			◆河川整備状況を市町と共有する。  ◆河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施する。  ◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、関係市町と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。
		H29取組状況	—	—	—			・河道掘削、立木伐採について、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施
		H30取組状況	—	—	—			・河道掘削、立木伐採について、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施
		R1(H31)取組状況	—	—	—			・河道掘削、立木伐採について、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施
		R2取組状況	—	—	—			・河道掘削、立木伐採について、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施
		R3取組予定	—	—	—			・河道掘削、立木伐採について、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施

桃字：H29取組状況  
 紫字：H30取組状況  
 緑字：R1取組状況  
 青地：R2取組状況  
 赤字：R3取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
12 排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域	毎年継続実施 ※島根県の「排水計画の検討」については、新たな洪水浸水想定結果を受けて排水計画の検討が必要になった際に、目標時期を設定する	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆排水施設、排水資機材等の情報提供 ◆排水計画策定に関する助言		◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。 ◆新たに作成する「想定最大規模降雨による洪水浸水想定」の結果から、災害拠点施設などの重要施設が立地するエリアで浸水継続時間が長期になるようであれば、ポンプ車などの配置などを考慮した効率的な排水計画を検討する。
		H29取組状況	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材等の情報提供 (参考) H29.6.8高津川(国管理区間)水防連絡会において共有		・平成29年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
		H30取組状況	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材等の情報共有		・平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
		R1(H31)取組状況	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材等の情報共有		・平成31年度(2019)水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
		R2取組状況	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・令和2年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有		・令和2年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
		R3取組予定	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・令和3年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有		・令和3年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
13 市町庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	平成29年度から継続実施	◆洪水時の情報伝達の体制や提供方法について、洪水浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等の各施設管理者等に周知する。 ◆洪水浸水想定区域内にある庁舎や災害拠点病院等の機能を確保するため、浸水想定情報を施設管理者に提供し、耐水化・非常用電源等の必要な対策を施設管理者に実施してもらう。 【現状】 <益田赤十字病院（災害拠点病院）> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は屋上に設置（重油タンクは1階に設置） <市役所> ・浸水想定区域内 ・非常用発電機は地上4.5mに設置	◆洪水時の情報伝達の体制や提供方法について、洪水浸水想定区域内の庁舎や拠点病院等の各施設管理者等に周知する。 ◆洪水浸水想定区域内にある庁舎や拠点病院等の機能を確保するため、浸水想定情報を施設管理者に提供し、耐水化・非常用電源等の必要な対策を施設管理者に実施してもらう。 【現状】 <津和野共存病院> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置	◆洪水時の情報伝達の体制や提供方法について、洪水浸水想定区域内の庁舎や拠点病院等の各施設管理者等に周知する。 ◆洪水浸水想定区域内にある庁舎や拠点病院等の機能を確保するため、浸水想定情報を施設管理者に提供し、耐水化・非常用電源等の必要な対策を施設管理者に実施してもらう。 【現状】 <六日市病院> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置	◆自衛水防の推進に関する支援		◆想定最大規模降雨での想定結果から、洪水浸水想定区域内にある災害拠点施設における浸水深さなどの情報を市町に提供する。 ◆洪水浸水想定区域内にある県庁舎の機能を確保するため、浸水想定情報を施設管理者に提供し、耐水化・非常用電源等の必要な対策を施設管理者に実施してもらう。 【現状】 <益田庁舎> ・浸水想定区域内 ・非常用発電機は1階に設置 <津和野土木事業所> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置
		H29取組状況	—	—	—		—	
		H30取組状況	・洪水浸水想定区域（想定最大規模）策定による施設状況確認 変更無	・洪水浸水想定区域（想定最大規模）策定による施設状況確認 <津和野共存病院> <役場（津和野庁舎）> ・浸水想定区域内	・洪水浸水想定区域（想定最大規模）策定による施設状況確認 変更無		・洪水浸水想定区域（想定最大規模）策定による施設状況確認 <津和野土木事業所> ・浸水想定区域内	
		R1(H31)取組状況	—	—	—		—	
		R2取組状況	—	—	—		—	
		R3取組予定	—	—	—		—	